

【岡山県】土地改良を契機とした農村地域の振興事例集

市町村	地区名等	タイトル	頁	発行月	Vol.
新見市	豊永	「新見A級グルメ」を代表するピオーネの産地づくり	1	H28.12	2
瀬戸内市	牛窓	露地野菜複合経営の確立と「牛窓ブランド」の推進	2	H30.03	4
新見市	神郷高瀬	中山間地域に新規就農者を呼び込むための基盤整備	3	R元.12	6
倉敷市	備南	高品質・安定生産の「白桃」「ぶどう」で『儲かる農業』へ	4	R3.03	7
笠岡市	笠岡湾干拓第二	笠岡湾干拓地の農業と畜産業の二刀流を支える排水施設整備	5	R4.03	8
高梁市	平川金野	簡易な基盤整備での水田の畑地化による高収益作物への転換	6	R4.03	8
総社市	山田	ほ場整備を契機とした安全安心な食料生産と地域の活性化	7	R7.03	11

「新見A級グルメ」を代表するピオーネの産地づくり

にいみし
【岡山県新見市】

体制・人材
づくり
栽培作物
・方法
加工・出荷
販売

【工夫のポイント】

- 気候条件を生かして、葉たばこから**ピオーネへ栽培を転換**し、生産面積を拡大。
- 品質の高さを生かした**台湾や香港へ輸出**や、品質にこだわった食材と組み合わせた「**新見A級グルメ**」として**ブランド化を推進**。
- 首都圏や関西圏を対象とした**就農相談会**や**農業体験研修**等を通じて、1ターンを始めとした新規就農者を確保。

【取組地域の概要】

- 位置
にいみし
岡山県新見市
(特定農山村等)



とよなが
豊永地区

岡山県

- 主要作物
・ぶどう(ピオーネ)、もも、トマト
- 主な支援策
・県営かんがい排水事業(S47~S63)
・県営畑地帯総合整備事業(S46~S58)
・中山間地域総合整備事業(H2~H6)
・多面的機能支払交付金(H19~)

基盤

農業用水の安定供給によるピオーネへの転換

- 水源の確保と畑地かんがい施設の整備によって、**安定的な農業用水の供給が可能**。
- たばこ需要の低迷や連作障害により葉たばこの収穫量が減少する中で、**ほ場整備を契機として、JAや市、普及センターが連携して高収益が期待されるピオーネを代替作物として選定**。



基盤整備
(S46年~H6年)

【整備前】

カルスト台地のため農業用水の確保が難しく、葉たばこ・そば・大根等の栽培では、**用水不足による品質や収穫量の低下**が課題。



生産現場

地域が一体となって取り組む産地づくり



- 夏期冷涼で昼夜の寒暖差が大きい**気候条件を生かしたピオーネ栽培**。
- 地域の営農者が一体となった、落ち葉やカヤなどの**有機物を活用した土作り**の徹底等による産地づくり。

加工・流通

品質の高さを売りにしたブランド戦略と輸出促進

- 地元での**A級グルメフェア**の開催や関西圏への直売所設置による試食販売、**ふるさと納税の謝礼品を通じた知名度アップ**を推進。
- 近隣の自治体やJAとの連携による輸出にも取り組み、**台湾では、市長らによるトップセールス**を実施。



担い手

都市部からの1ターンを始めとする新規就農者の確保

- 県・市・JAが連携した首都圏や関西圏での**就農相談会**や**就農・定住の支援体制の充実**により、移住による担い手が着実に増加。

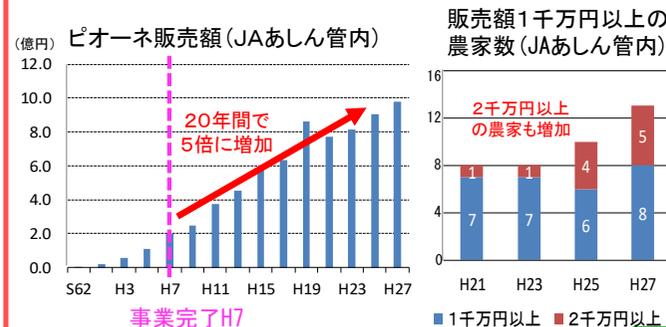
ピオーネの新規就農者数(人)

H23	4
H24	4
H25	2
H26	3
H27	2

【出典:岡山県農林水産部農産課調べ】

品質の高さを活かした地域ブランドの確立による販売額の増加

- 地域が一体となった土作りなどを通じて高品質なピオーネの安定供給に向けた産地づくりを進めた他、**ブランド戦略による販売促進**に取り組んだことで、**市場評価も高まり、販売額が増加**。



【工夫のポイント】

- 温暖な気候の下、基盤整備を通じた用水確保によって、白菜やキャベツ等の露地野菜栽培が発展。
- 独自の栽培ほ場検査の実施や出荷規格の厳守により、県内トップクラスの評価を獲得。「牛窓ブランド」として産地のブランド化を進展。
- 露地野菜の生産拡大と併せて、新規就農者に対する技術指導や研修等を行い、地域の担い手を育成。

【取組地域の概要】

- 位置 せとうちし
岡山県瀬戸内市



うしまど
牛窓地区

岡山県

- 主要作物
 - ・白菜、キャベツ、冬瓜、カボチャ、メロン等
- 主な支援策
 - ・国営かんがい排水事業 (S45～S63)
 - ・県営畑地帯総合整備事業 (S54～H8)

基盤整備による露地野菜の安定生産の実現

- 畑地かんがい施設の整備とともに区画整理や農道の整備を行うことで、営農作業の省力化が図られたほか、出荷時に野菜に傷が付きにくくなるなど収量、品質の向上が図られ、経営が安定化。



整備された農地(白菜畑)



噴霧散水(きゃべつ畑)



スプリンクラー散水(冬瓜畑)

基盤整備 (S54年～H8年)

【整備前】

狭小かつ不整形な区画であったほか、天水に依存した営農であったため、用水確保及びかん水に多大な労力を要するなど、効率性の低い不安定な農業経営であった。



整備前の水源(ポリタンク)

基盤

生産現場

加工・流通

担い手

県内トップクラスの露地野菜産地に発展

- 減農薬栽培や生産管理履歴の徹底、施肥管理などにより高品質・高収量を実現。
- 秋冬期は白菜、キャベツ、春夏期は冬瓜、カボチャなどを組み合わせ周年栽培を行うことで安定した露地野菜経営を確立。



はくさい畑

県内トップクラスの露地野菜産地に発展

- 独自の栽培ほ場検査や出荷規格の厳守により、高品質な野菜を京阪神などに出荷。
- 白菜では特定の品種で一定品質以上のものに限り「冬黄(とうき)白菜」として出荷するなど「牛窓ブランド」を確立。



地域の担い手として新規就農者を確保・育成

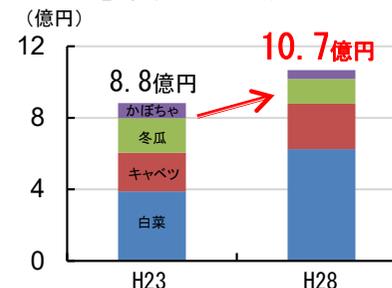
- 県・市・農協が一体となって新規栽培者の受入れ体制を確立し、研修から就農まで一貫したサポートを実施(過去5年間で8人が新規就農)。



高品質・高収量の実現による安定した露地野菜複合経営の確立

- 温暖な気候の下、基盤整備や高い栽培技術・管理により白菜・キャベツを中心とした露地野菜の品質や収量が向上。さらに、複数の品目を組み合わせることでより安定した経営を確立。
- 市場評価の高い地域ブランド野菜により事業完了後も地区全体の販売額は年々成長。新規栽培者も参入しており、産地として、持続的な発展を実現している。

【野菜の販売額(JA岡山：牛窓管内)】



事業完了後も産地として成長

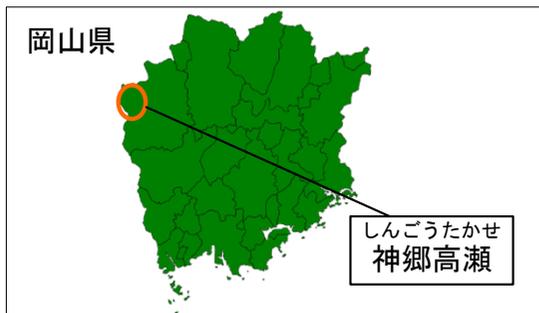
【出典：JA岡山】

【工夫のポイント】

- 地域、市、JAの連携により、**家族経営によるトマト生産の新規就農者確保と定住促進を計画。**
- トマト栽培に適した基盤整備を実施し、**新しい農地を用意。**
- **ベテラン農家のきめ細かなサポート**で、早期の収入増を実現。
- 住居の斡旋など新規就農者を生活環境面でもサポート。
- **地域の描く将来像と新規就農者のニーズが、基盤整備をとおしてマッチング！**

【取組地域の概要】

- 位置 にいみし
岡山県新見市(特定農山村等)



- 主要作物
・水稲、トマト
- 主な支援施策
・中山間地域総合整備事業 (H27～)

基盤整備と水源確保により地域が目指す営農を実現

基盤整備により、**緩傾斜の農地を造成**するとともに、水源を確保し**安定的な農業用水を供給**することで、高品質なトマト栽培を実現。

基盤



基盤整備
(H28年～H30年)

【整備前】

既存農地は**急傾斜地**にあり、また、**用水の安定的な手当てがされていない**ことから、**生産性が低く、担い手もつかない状況。**



施設の導入により安定した収量増を実現

生産現場

- 本地域の特産品である「**桃太郎トマト**」は、岡山県の日照量の多さや昼夜の温度差を生かし栽培することで、**高い品質を実現。**
- **ハウスや養液土耕設備の導入**により、**高収量**を実現するとともに、9～10月の**高単価期**の出荷にも対応。



都市部からのイターン者が新規就農者として移住

担い手

- 農家は高齢化が進み、1974年の250戸をピークに60戸まで減少していたが、新規就農者確保のため、地域は**行政やJAと連携し、基盤整備や手厚い技術支援を実施。**
- **新規就農者は古民家での田舎暮らしを家族で楽しみつつ、地域行事への積極的な参加により、地域住民との信頼関係を構築。**



新規就農者がモデル農家となり次世代の産地のけん引役を担う

- 新規就農者の努力に加え、ベテラン農家の技術指導と施設導入により、**高収量と高単価期の安定生産**を実現し、新規就農者の**所得向上。**
- さらに、経営面積の拡大や単価高騰もあり、新規就農者の販売額が、**就農2年目にして目標の1千万円を突破！！**
- **新規就農者がモデル農家として、次の新規就農者の手本となり、次世代の産地のけん引役を担う。**



【出典：JAあしんの資料をもとに岡山県農林水産部農村振興課作成】



【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機に、白桃、ぶどうの更なる高品質・安定生産の技術を確立。
- 非破壊糖度計を導入し、「糖度保証」による有利販売を推進。
- 老朽化した畑地かんがい施設の更新に併せ、給水エリアを拡大し、産地を維持・発展。
- 園地マップを作成し、関係機関が連携して流動化を推進。

【取組地域の概要】

- 位置 くらしきし
岡山県倉敷市

岡山県



びなん
備南地区

- 主要作物
・白桃、ぶどう(マスカット・オブ・アレキサンドリア、シャインマスカット)、スイートピー

- 主な支援施策
・県営かんがい排水事業(S36~S43) (H11~H26)
・農業構造改善事業(S42~S44)
・県営畑地帯総合整備事業 (H13~H25)

基盤

基盤整備により産地が持続的に発展

施設の更新により用水の安定供給が可能になるとともに、給水エリアの拡大を実現。



配水池



ぶどう園地

基盤整備

(H11年~H26年)

【整備前】

白桃やぶどうの中元用の進物果物として、主要な果樹産地に発展するものの、S36~44に整備した畑地かんがい施設の老朽化(揚水機の故障や配水管の漏水等)により、営農面や維持管理面で多大な支障。



清水白桃



マスカット・オブ・アレキサンドリア

生産現場

高品質・安定生産技術の確立

- 白桃：かん水及び排水施設の整備により、近年の過乾や過湿にも対応。
- ぶどう：最適な水分補給と徹底した肥培管理による浅根での栽培技術を確立。
- スイートピー：ぶどうの間作として導入されたところ、全国有数の産地にまで成長。



スイートピー

加工・流通

糖度保証の確立

- 白桃：共同選果場に非破壊糖度計を導入し、糖度保証による有利販売を実現。
- ぶどう：適切なかん水により、成熟したぶどうの日持ち性を改善。

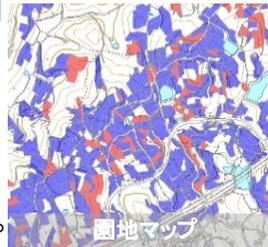


非破壊糖度計

地域の取組

園地の流動化・受益地の再編

- 耕作・非耕作地が一目でわかる園地マップを活用し、関係機関が連携して、積極的に園地の流動化を推進。
- 隣接地で実施するほ場整備区域を給水エリアに取り込み、受益地の集約と再編を推進。



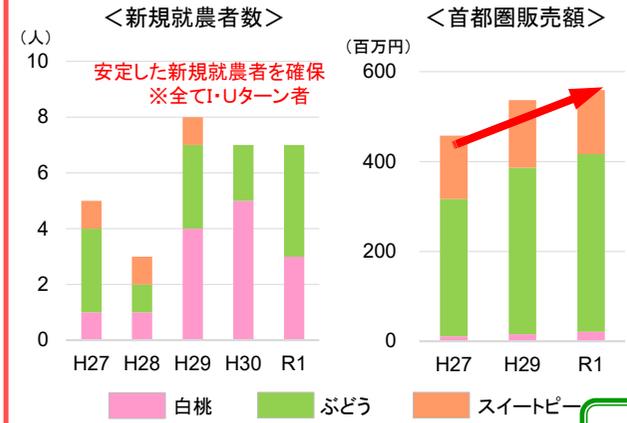
園地マップ

新規就農者の確保と新たな市場開拓

- 県・市・JAが一体となって就農相談会や研修制度を活用した新規就農者の受入体制を確立し、新たな担い手を確保・育成。
- 首都圏への出荷を推進し、市場ニーズを踏まえた出荷や品質向上により、産地が維持・発展。



営農指導



【対策のポイント】

- 排水施設の整備により農地の湛水被害を防止し、高収益作物への転換を促進。
- スマート農業導入の実証を進め、収益性のさらなる向上を図る。
- 湛水被害の軽減や排水改良による青刈りとうもろこしへの転換促進などを通じ、畜産農家の経営安定化に寄与することで、飼育頭数の拡大が図られ、畜産業の成長に貢献。

【取組地域の概要】

○位置 かさおかし
岡山県笠岡市

岡山県



かさおかわんかんたくだいに
笠岡湾干拓第二地区

- 事業名
水利施設整備事業(H27~H30)
- 主要作物
ブロッコリー、キャベツ、たまねぎ等
- 受益面積 868ha
- 主要工事
排水施設整備N=12箇所

基盤

排水施設の整備

- 施設の老朽化に伴い、排水能力が低下し、湛水被害や排水不良による農作物被害が発生。
- 排水施設を整備することで、湛水被害の軽減を図り、高収益作物への転換を促進。



基盤整備

(H27~H30)



笠岡湾干拓地の土地利用



○ 排水施設整備
N=12箇所

(令和3年11月現在)

凡	例
畜産エリア	畜産エリア
農作物エリア	農作物エリア
その他エリア	その他エリア

地域の取組

スマート農業の導入に向けて

- 令和2年度に「スマート農業の開発・実証プロジェクト」の採択を受け、キャベツやたまねぎなど、加工・業務用野菜栽培を対象に、先端技術を組み合わせさせたスマート農業技術体系の導入による収量の向上と省力化について現地実証中。

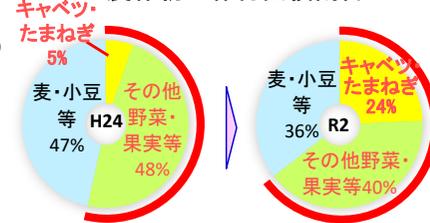


対策の効果

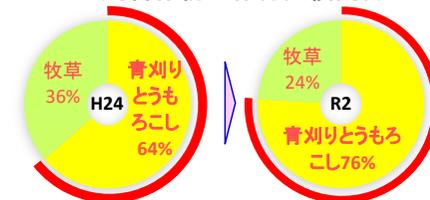
農業と畜産業の二刀流の促進

- 作物生産額に占める高収益作物の割合が9割を超える中、さらにキャベツ、たまねぎなど機械化可能な加工・業務用野菜へ転換を促進。
- 飼料作物は、単位当たりTDN収量の高い青刈りとうもろこしへの転換を促進。
- 笠岡湾干拓地の農業と畜産業が牽引し、市の農業産出額は大幅に増加。

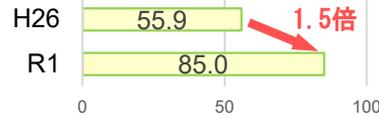
農作物の作付面積割合



飼料作物の作付面積割合



笠岡市の農業算出額(億円)



【出典】市町村別農業産出額(推計)

【出典】笠岡市調査

【対策のポイント】

- 一部荒廃していた**小区画水田を**高収益作物の栽培に適した農地に改良。
- 基盤整備を契機に、**新規就農者を確保**。
- **新規就農した4経営体に農地を集積し、高収益作物への転換を実現**。

【取組地域の概要】

○位置

たかはし
岡山県高梁市

岡山県



ひらかわかの
平川金野地区

○事業名

農地耕作条件改善事業(H28)

○主要作物

ぶどう、トマト

○受益面積 190a

○主要工事

農業用排水施設:326m
区画拡大:170a

水田の畑地化

- 現況ほ場は小区画水田であり、果樹や野菜での営農を希望する**新規就農者の呼び込みが困難**。
- 簡易な基盤整備(畦畔除去)に合わせて、ほ場面に緩傾斜を設け、排水性の向上を図るとともに、用排水施設を整備し、**高収益作物の栽培に適した農地に改良**。

基盤



基盤整備
(H28)



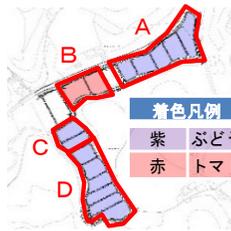
担い手の確保と農地集積

- 定住推進協議会が就農希望者の受入体制の充実を図る中で、**高収益作物に適した農地の確保が課題**。
- 基盤整備を契機に**新規就農した4経営体に農地集積**。

集積・集約



協議会による経営体支援



農地集積の状況



高収益作物への転換

- 新規就農者のための基盤整備を行い、荒廃農地の解消を図るとともに、**高収益作物への転換を実現**。

対策の効果



【工夫のポイント】

- ほ場整備事業を契機に法人化を図り、**高収益品目を導入し、耕作放棄地を解消**。
- レンゲを活用した特別栽培米や耕畜連携した飼料用稲の生産により**安全安心な食料生産**。
- 婦人会との連携等により、交流を促進することで**地域が活性化**。

【取組地域の概要】

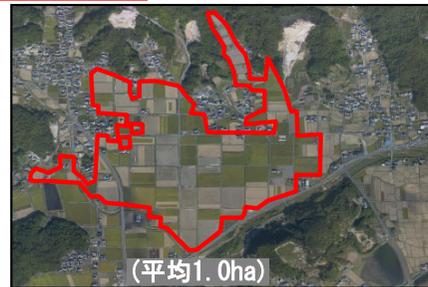
- 位置 そうじゃし
岡山県総社市



- 主要作物
・水稲、二条大麦、白大豆、ナタマメ、シキミ、サンショウ、ゴマ等
- 主な支援施策
・県営ほ場整備事業(担い手育成)(H9~H22)
・農地中間管理事業(H26~)

水田の区画整理と法人経営による省力化

- ほ場整備事業を契機に担い手による効率的な農業経営を目指して、**農事組合法人「山田営農組合」を設立**。
- 区画整理により、大型機械を導入し、**大規模営農により低コスト省力化**を実現。



山田営農組合「基本理念」

(H6年~H22年)

- ・安全安心な食料生産
- ・耕作放棄地の解消
- ・雇用の創出

基盤整備

【整備前】

ほ場は**狭小で排水が悪く、道路や水路も未整備**。
担い手への農地集積が進まず、効率的な営農に支障。



安全安心な食料生産

環境負荷低減

- レンゲを栽培し、緑肥として活用しつつ、特別栽培米を生産。**農薬の使用量、化学肥料の窒素成分量を慣行農法から半減**させ、安全安心な食料生産に取り組んでいる。
- **耕畜連携にも取り組み**、畜産農家からの**堆肥を使用**し、生産される**飼料を畜産農家へ供給**。地域内での資源循環にも取り組んでいる。



耕作放棄地の解消と地域の活性化

地域の取組

- **耕作放棄地対策**や**女性・高齢者の活躍**のため、条件が悪い農地にナタマメ、シキミ、サンショウ、ゴマ等の**高収益品目を導入**し、地域の活性化に貢献。



雇用の創出

加工・流通

- ナタマメについては乾燥施設等を整備し、地域内で**生産から販売まで一貫した経営**を行い女性4名の新たな**雇用を創出**。



法人経営による地域の活性化

- 法人の組合員や婦人会が中心となって運営する旧庄屋屋敷「菊池邸」を活用した「山田ふれあい市」は、**平成30年から32回開催**され、地域に愛される交流・憩いの場として定着。
- **地区住民の交流による地域の活性化**に寄与。



環境に配慮した農業の実践

- 営農組合の法人化を契機に新たに特別栽培米や耕畜連携に取り組み、**農薬・化学肥料を半減**。

※特別栽培米 3.7ha(R3)
※飼料用米 7.3ha(R3)
※WCS用稲 13.2ha(R3)